

課題名

10. 県内におけるヤノネカイガラムシの天敵ヤノネキイロコバチとヤノネツヤコバチの分布拡大について

成果の要約

ヤノネキイロコバチは1年間に10 km以上の分散も可能であるが、ヤノネツヤコバチの分散は約1 kmである。

成績

- 1 キイロコバチは1985年11月までに佐世保以南のほとんどのかんきつ産地に分布を拡大したものと考えられる。とくに今年あらたに佐世保市周辺で寄生が確認されているが、1年に10 km以上の分散ができるようである。
 一方島しょの一部では、放飼地から500 m～2 km以内の距離でも放飼後2年目で分散していない例もある。
- 2 ツヤコバチの分散はキイロコバチに比べておそく、1981年に口之津町の農水省果樹試験場口之津支場に放飼してから4年目で、それから約6.5 km離れた加津佐町山中で寄生が初確認された。
 大村での分散も放飼後4年目で放飼地点より約4 kmであることから、分散距離は1年に約1 kmと考えられる。

績

第1表 長崎県内におけるヤノネキイロコバチの年間分散距離

調査地点	寄生確認地点までの距離		寄生確認できなかった地点までの距離	
	本土	島しょ	本土	島しょ
	(km)		(km)	
1	3.0	1.5	25.0	0.25
2	3.3	1.5	30.0	1.0
3	5.0	3.5	32.0	2.0
4	6.0	4.3	34.0	2.25
5	6.0		37.0	4.0
6	10.0		45.0	5.0
7	10.0		47.0	5.5
8	11.0			
9	11.0			
10	15.0			
平均	8.0	2.7	30.9	2.9

概要

要

